Leap

リーブ 取扱説明書

リーブチェアをお使いになる前に必ずお読みください。

Steelcase

1. 安全上の注意

⚠ 注意

禁止	1	事務用椅子の用途以外には使用しないでください。けがの原因になります。
	2	座面に立ち上がったり逆向きに座ったりしないでください。 いすが動いて転倒する原因になります。
	3	上に物を乗せないでください。転倒・落下の原因になります。
	4	脚の一部が床面より浮くような状態で使用しないでください。転倒の原因になります。
	5	椅子に座った状態で机に脚を乗せたり、キャスターの前側を床から浮かせたりしないでください。転倒の原因になります。
	6	ストーブ等火気の近くで使用しないでください。火災の原因になります。
	7	可動部やすきまに指を入れないでください。けがの原因になります。
	8	部品の分解・改造はしないでください。けがの原因になります。
!	9	座る時は、いすの背または座を持って座ってください。 いすが動いて転倒の原因になります。
	10	使用中にボルトやネジのゆるみによるがたつきが生じたときは販売店又は弊社営業所までご連絡ください。がたつきが生じた状態のままで使用するとけがのおそれがあります。
	11	このいすを廃棄するときは、専門の解体業者に御依頼ください。 万一、焼却すると破裂しけがの原因になります。
	12	直射日光の当たる場所でのご使用はさけてください。変色や変形の原因になります。
	13	製品は必ず屋内で使用し、屋外でのご使用はさけてください。 変色や変形の原因になります。
	14	製品は水のかかる場所や、温度の高い場所でのご使用はさけてください。 さび・変色・変形等の原因になります。

2. 家庭用品品質表示法による表示

寸　法	外　形 座奥調節 座面の高さ	幅650mmx奥560mmx高さ980mm 430～510mm 400～530mm
構造部材	座部 背もたれ部 脚部	ポリプロピレン ポリプロピレン スチール
表面処理	スチール部	紛体塗装
貼り材	座部 / 背もたれ部	ファブリックまたは革
クッション材	座部 / 背もたれ部	ウレタンフォーム
表示者	日本スチールケース株式会社 〒106-0047東京都港区南麻布5-2-32 興和広尾ビル4階 tel.03-3448-9611　fax.03-3448-9617	

3. 故障と思う前に

1)トラブルの内容と対策

故障の内容	原　因	処　置
座が上がらない	操作する時に腰を浮かせていない	腰を浮かせて操作してください
	座面が一番上の位置になっている	上限ですので、これ以下の高さで使用してください
座が下がらない	座の中央に腰掛けていない	座の中央に腰掛けて操作してください
	座が一番下の位置になっている	下限ですので、これ以上の高さで使用してください
キャスターの転がりが悪い	糸くず毛が絡みついている	掃除をするか、新しいキャスターと交換してください
異常な音がする	故障の可能性があります	販売店又は弊社営業所までご相談ください

4. 保証について

1) この製品の保証期間は、一般オフィスの執務状態において、製品の使用方法が当取扱い説明書に従って使用された場合、製造日より下記の期間において製造上の瑕疵について保証されます。

- 8年 座部、背部、肘掛部、脚部等の基本構造部材。
- 5年 いす本体可動部の機構、ウレタンフォーム。
- 3年 張り部材、塗装表面、可動肘の機構、上下ガスシリンダー、キャスター。

2) この保証は、日本スチールケース㈱の正規販売代理店を通じて購入し使用しているお客様についてのみ有効です。

また、上記期間中におきましても次の場合は有償修理となります。

— 災害等による偶発的に生じた被害。
— プラスチックや張り地の経年変化による褪色。
— 改造や分解をされた製品。
— 過度の付加がかかったことによる故障。

5. お手入れについて

外観部分については清潔で柔らかな布で乾拭きして下さい。汚れが取れない場合水で薄めた中性洗剤を布に浸して絞ってから拭き、その後乾いた布で拭いて下さい。皮部分については年に1～2度レザークリームを使ってお手入れして下さい。決して靴磨きを使わないようにして下さい。

6. 付録

1) ご使用に際しての注意

- ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読み下さい。この「取扱説明書」はいつでもお読みになれるように、大切に保管して下さい。
- また、この「取扱説明書」を紛失された場合は、販売店又は弊社営業所まで連絡して、内容を確認の上、ご請求下さい。
- この製品を譲渡される場合は、次の所有者にこの説明書を必ず添付して譲渡して下さい。
- この商品は改良のために、仕様を変更する場合があります。このため、同一製品においても、「取扱説明書」の記載内容が異なる場合がありますので、製品ごとの「取扱説明書」を混同して使用しないで下さい。

2) 廃棄の時のご注意

- お客様自身で分解しないで下さい。
- 廃棄時は、そのまま廃棄業者にお渡し下さい。

《廃棄時の引取先へ》この製品は「JOIFA 302」日本スチールケース株式会社の製作した製品です。

日本スチールケース株式会社
〒106-0047 東京都港区南麻布5-2-32興和広尾ビル4階
TEL 03-3448-9611 FAX 03-3448-9617
www.steelcase.jp

修理が必要な故障の場合は当社営業担当者および、ご購入になった販売店までご連絡ください。

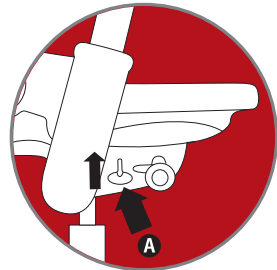
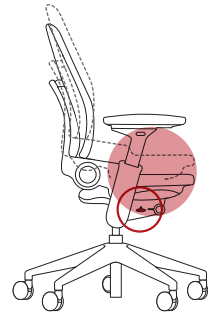
Steelcase®

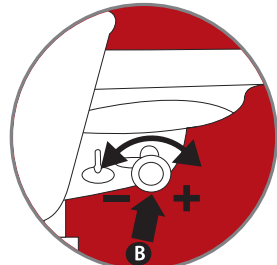
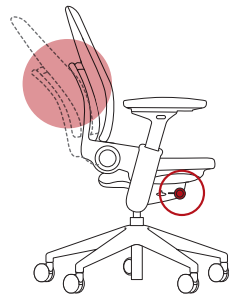
座面高さ調節機構

（座面を上げる時）
腰を座面から浮かせた状態で図中Ⓐのレバーを引き上げて高さを調節して下さい。

（座面を下げる時）
座面の中央にしっかり腰をかけた状態で図中Ⓐのレバーを引き上げて高さを調節して下さい。

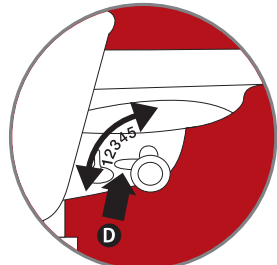
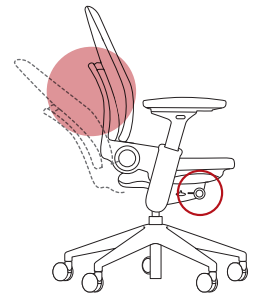
リクライニング強度調節機構

座面下右手前のダイヤル図中Ⓑを回すことで、背のリクライニング強度の調整ができます。十方向（前）に回すと背中を押し返す力が増し、ー方向（後方）に回すと押し返す力が緩みます。チェアに座った状態で、背中を軽く押される程度に調整してください。

ライブバック機構

背右下のダイヤル図中Ⓒを回すことで、背の変形する強度を調整できます。十方向（前）に回すと、背下部の変形強度が増し、ー方向（後方）に回すと変形強度が緩くなります。

リクライニング範囲調節機構

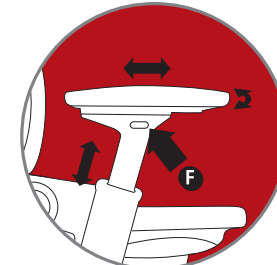
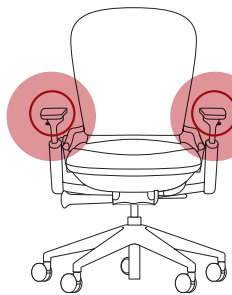
座面下右前の図中Ⓓのレバーを上下に操作することでリクライニングの範囲を目的に応じて5段階で変えることができます。レバーを最も立てた状態では、背が最も立った状態でストップします。レバーを水平の位置まで倒すと、最大のリクライニング範囲が得られます。

座奥調節機構

（リープA・Bタイプ、リープHD・座奥調節タイプに装備）
座面下左後方の図中Ⓔレバーを操作することで、座の奥行きを変えることができます。レバーを上げた状態で、お尻を座面につけたまま前後に動かします。その人にあった最適な奥行の目安は、チェアの背に背中をつけた状態で、ひざの裏側とチェアの座面との間に若干の隙間があく程度です。

4Dアジャスタブルアーム

（肘付きタイプ）
肘は、上下・左右・首振りをそれぞれ動かすことで、最適な状態に調整することができます。高さ調節は、肘側面の図中Ⓕレバーを押しながら手で上げ下げします。レバーを離すと固定します。（上下ストローク100mm）左右・首振りに角度の調整は、手で肘パット部を持ち、左右に動かすことでおこなえます。

ライブバック機構®
Leapの背もたれは背骨全体を支えるように形状が変化します。これにより背中の下部がずり落ちたり、前屈みの姿勢になることが少なくなります。

ナチュラルグライドシステム機構
シートが前方にグライドするため、視界や手の届く範囲を動かすことなく、リクライニングできます。これにより多様な姿勢をとることができ、背骨にかかる負担が減ります。

アジャスタブルヘッドレスト

Ⓖ高さ調節(87mm)により、頭と首に負担がなく快適な姿勢を保つことができます。